

<岸和田市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

24校に図書館コーディネーターが、週に2日、合計12時間ずつ配置されている。(2校に1人)

主に、読み聞かせ・ブックトーク・本の紹介・選書・本の貸し出しや返却・本の整理や修理等の活動をしてきている。この週に2日、合計

12時間ずつ配置により、児童の読書活動の幅も広がり利用も増えている。常時配置を希望。

必要に応じて、岸和田市立図書館から本の貸し出し、地域によっては、岸和田市立図書館からなかよし号巡回。

中学校

全校11校とも、週に1回ずつコーディネーターが配置され、図書室の整備や本の整理やお知らせの掲示・新刊の搬入などの活動をしている。

1人のコーディネーターが3校～4校を週1回6時間で担当している。

小学校に比べ、生徒と関わる時間が少ない。

図書館コーディネーターたちは、「図書室に来る生徒はとってもかわいい。」との感想を持ってきている。週に1回ではなく、毎日ではなくとも、週3回ぐらい配置されるとありがたい。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

岸和田市学校図書館協議会に、

岸和田市内の全中学校と小学校が加盟

4月・・・総会

9月・・・読書感想文コンクール審査会

12月・・・読書感想画コンクール審査会

2月・・・「本を読もう」冊子発行

(役職等は、会長・副会長・書記・会計・ブロック委員

本を読もう・読書感想文・読書感想画)

地域の有志の活動として、「岸和田市子ども文庫連絡会」と「ユウカリ」(本の読み聞かせや紹介)

司書教諭は、担任も兼務しているが時間軽減がなく、仕事の時間が時間外になることが多い。

3. 学校図書館の具体的な活動例

- ・毎日、図書委員が図書室を開放
- ・図書委員のおすすめの本コーナーを設置
- ・雨の日に図書委員による紙芝居

学期に1回の読書週間での図書委員の紙芝居

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

① コンピュータを活用している小学校

(Win 書庫)

山直南・八木北・浜・城北・常盤・東葛城・

旭・東光・山滝・太田・八木南・八木・山直北・朝陽・光明・大宮・新条・修斉・春木・城内・城東・中央小学校

② コンピュータの活用を予定している小学校

春木・城内・城東小学校

③ コンピュータの活用を予定していない小学校

修斉・朝陽・中央・天神山・光明・新条・大芝・大宮小学校

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

全体的にカーペットを敷いている学校や、絵本コーナーを設置し、畳やカーペットを敷いている学校もある。児童がゆったりとした気持ちで読書ができるようにしている。また、机・椅子を用意し、学習に使用できるような環境づくりにも努めている。

主に肢体不自由のある児童の読書姿勢を考慮して、座卓の使用を予定している。

図書室入室の段階で上靴を脱ぐので、図書室自体も比較的清潔に使用できている。

主にNDCの10分類で図書を分類しているが、新しい本のコーナーやバリアフリー・平和学習・作家コーナー・お勧めの本のコーナー・料理の本のコーナー・寄贈本のコーナー等、必要に応じて設置している。

6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・消毒液の支援。(学校に送られたものを活用)

<学校独自の対策>

- ・本の貸出・返却の際にアルコールで消毒を行う。
- ・図書室へ入室する際に、手洗いを徹底させる。

<貝塚市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置(1小1中につき隔週1名)主に、本の貸し出しおよび返却、本の修理、本の紹介、授業に関する本の収集、読み聞かせ、図書室の整備、図書館だよりの作成等

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

貝塚市教育振興会 学校図書館部

概要：小中学校における学校図書館
活動の充実を図る

担当者 寺西 恭子

貝塚市立葛城小学校 072-446-0044

実施時期：月1回

場所：貝塚市内の小中学校、
または、貝塚市民図書館会議室

内容：各小中学校における図書活動の交流
図書活動の充実にむけた取り組み

5月：市教育振興会学校図書館部会の開始

- ・部長・副部長の選出
- ・今年度の活動計画の作成

6月：「本とともにだちになろう」
(夏季休業前の配布プリント) のため
のおすすめの本の選定

7月：「本とともにだちになろう」
(夏季休業前の配布プリント) の作成

8月：市外研修

9月：8月にふりかえのためなし

10月：各小中学校における図書活動の交流

11月：図書活動の充実にむけた取り組み実践

12月：年度末反省

1月：市民図書館での研修参加

2月：なし

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・本の貸し出しおよび返却
- ・学校図書館部より課題図書の紹介と読書感想文の書き方を児童に配布(夏季休業前)
- ・図書委員による学期に1回の「読書週間(月間)」の活動(読み聞かせ、おすすめの本の紹介、しおりづくり、ビブリオバトル等)
- ・学校司書連絡会(年間4回開催)
- ・市民図書館の館長や職員、学校司書、教育委員会指導主事をメンバーとした会議を実施

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・H29年度に各小中学校図書室にPCが導入。
- ・現在は図書館の電算化に向けてバーコードなどの準備をしている。

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・NDCに基づく10分類で図書を分類
- ・さまざまな図書コーナー(新しい本コーナー、今月のおすすめコーナー、寄贈本コーナー、作家コーナー等)の設置
- ・地域ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞

かせなど

6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・各校の図書室設置用のアルコールを配付。
- ・市民図書館の巡回、貸し出しの方法の工夫。

<学校独自の対策>

- ・本の消毒
- ・図書室の入室人数の制限

<泉佐野市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策 や、行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置
→小学校には週1回配置(日根野小、中央小は週2回)
→中学校には週2回配置

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議(学期に1回程度開催)

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・保護者、地域向けに学校図書館ボランティア募集のチラシを配布
- ・中学校図書館の夏季休業中における地域開放
- ・図書委員(文化委員)によるオススメ本の紹介
- ・各学校の図書担当者がオススメ本の紹介文を作成し、まとめたり、リーフレットを夏季・冬季休業前に児童・生徒に配布
- ・本の貸し出し・返却

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・市内中学校1校のみ電子化

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせなど

6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・スクールサポートスタッフによる消毒の実施
- ・感染対策の備品・消耗品の支給

<学校独自の対策>

- ・座席を制限し、間隔をとれるようにする
- ・図書室内の導線を明確にし、一方通行に
- ・本の消毒の実施
- ・返却本を一定日数置いておいてから書棚に並べるようにする

<阪南市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・読書センターの機能充実だけではなく、学習センター・情報センターとしての環境整備を進めていくために、1校1名配置をめざしている。
- ・学校図書館を中心として、図書館だよりの発行や読書週間、読書マラソンなど、工夫した取り組みを考え、読書推進に繋げてきた。
- ・全小中学校に「よみうりKODOMO新聞」、全中学校に「よみうり中学生新聞」、日刊紙を配置している。
- ・希望校において「えほんのひろば」を開催している。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動 阪南市子ども読書活動推進協議会

民間団体	はんなん子育てネットワーク代表
	子どもNPOはらっぱ代表
	社会福祉協議会代表
	阪南市子ども文庫連絡会代表
学校関係	阪南市みんなの図書館を考える会代表
行政関係	泉鳥取高等学校代表
	福祉部こども家庭課代表
	健康部健康増進課代表
	生涯学習部学校教育課代表
	生涯学習部生涯学習推進室代表
	生涯学習部図書館代表

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・市教委主催研修学校司書研修
(年間10回程度)(教育委員会+学校司書)

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・全小中学校で電算化(H14年から導入
: H27年度9月から新システムに入れ替え)
- ・蔵書データについては、バーコード管理しているが、書誌データは手入力している。

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・学校図書システムについて、小中学校がネットワークでつながっており、相互貸借をデータ管理できる。
- ・学校司書が主となり、学校司書研修を計画、実施している。研修の内容によっては、市立図書館との合同開催もある。

6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・学校に対してマスクやアルコール消毒液を配給し、感染予防のための啓発活動を行っている。

<学校独自の対策>

- ・貸し出し時、間隔をあけるよう立ち位置を指定している。
- ・返却された本は表面をふき取って書架に戻す対応をしている。

<泉南市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置は、泉南市で2名、3か月ごとにローテーション

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議(学期に1回程度開催)

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・日々の貸し出し業務<各校>
- ・長期休み前に一人2冊貸し出し。
- ・委員会のポスターや図書委員会による本の紹介
- ・図書館だよりの発行
- ・ブックカバーをつける(教員による)
- ・課題図書の循環
- ・移動図書館(図書室の本をいつでも教室で読めるように20冊程度廊下においています。委員会の際に本を入れかえる)
- ・図書室の季節掲示

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・貸出は手作業(委員会の児童による貸出の為)
- ・電子データにして管理<各校>

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ
- ・PTA会費からの図書費の援助

6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・消毒液を各校に配付

<学校独自の対策>

- ・図書室利用前後には手洗いをする。
- ・マスク着用、手指の消毒の徹底。
- ・図書室を利用する時間帯を分散する。
- ・間隔を空け、互い違いに着席する。
- ・換気の励行

<泉南郡>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策 や、行政からのサポート

- <熊取町> ・学校図書館司書の配置
(全校に1名非常勤の配置)
・連絡会を月1回開催
・選書会を月1回開催
- <田尻町> ・学校図書館司書の配置
(全校に配置)
- <岬町> ・学校図書館司書の配置
(3小に1人)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

<熊取町>

①子ども読書活動推進連絡協議会

対象年齢別の部会に分かれ、年2、3回研修会や情報交換を行う

- ・「学齢期子ども読書活動推進連絡会」の開催
図書館・学校(各小中学校図書館担当教員・学校図書館司書)・学校教育課が、各学校の取組みについての報告や、情報交換、研修会を行う。
- ・「おはなしキャラバン」
保育所・小中学校の子どもたちに対し、文庫連が、絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行っている。

②泉南郡小学校教育研究会 国語・図書館部

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

<熊取町>

- ・年度初めにすべての子どもにオリエンテーションを実施し、学年に応じた図書室の利用の仕方等について指導する。
- ・「熊取町図書館を使った調べる学習コンクール」を実施し、子どもたちの情報活用力を育成する。

<岬町>

- ・年度初め各学年に図書担当や担任が図書室の使い方のオリエンテーションをする。

4. 学校図書館の蔵書管理方法

<熊取町>

- ・帳簿による管理・逆ブラウズ方式
- ・平成29年度に「学校図書館の活性化と情報化」についての作業部会を立ち上げた。

<岬町>

- ・電子データにしてコンピュータによって
ネットでも蔵書の閲覧を可能にする。

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

<熊取町>

- ・住民団体・関係機関・町の関係部局が連携して、
子どもの発達段階をふまえ、身近な読書環境の
充実を図っている。

6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・具体的な活動場面ごとの感染症予防対策について、5月14日 公益社団法人日本図書館協会作成「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を参考に教育委員会が作成し各校に周知。(レベル1～3の各段階についての図書館活動について、感染症対策の具体例について、学校再開後の図書館会館に向けた準備について。)

<学校独自の対策>

- ・読み聞かせの際に座るカーペットを2枚にして
離れる。
- ・返却本は1冊ずつ次亜塩素酸ナトリウムで消毒。
- ・授業中の貸出・返却は司書と担任の先生で行う。
- ・入ってすぐのカウンターに消毒液を設置。
- ・えんぴつは希望者に貸し出して、利用後は1本
ずつ消毒。
- ・入室前に手を洗うことと、マスクの着用を先生
から児童に伝えてもらう。
- ・休み時間の利用は、利用表通り。
- ・閉館前に館内の消毒。
- ・換気。

<泉南地区>

7. タブレット導入について

- ・どの市郡も導入したばかりで、設定や使用ル
ール、使い方を試行錯誤している状態である。
いまのところ、図書館教育と絡めたタブレッ
ト利用にはまだまだ至っていない状況であ
る。本質的な課題などは今後出てくると思わ
れる。